

広報 しんじょう

12
2005

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.576



おもしろ実験教室 in 最上 (11月26日/市民プラザ)

市長就任あいさつ……………2

今年の主な出来事……………3

冬を安全に快適に……………4

公共サービスの担い手……………6

認証保育所……………8

江戸だより/いきいき新庄人……………9

しんじょう見聞録……………10

12月のお知らせ……………12

将来を見すえた人づくり……………14

市の木[モミ]



昭和59年の市制施行35周年を記念して市民アンケートから選ばれたもの。新庄の大地に深く根を張り、一直線にそびえるモミの姿は、未来に躍進する新庄の希望と愛情を表す。

新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
E-mail info@city.shinjo.yamagata.jp

「協働」と「改革」で たくましい故郷を創ります



新庄市長 高橋 榮一郎

このたび行われました新庄市長選挙におきまして、再び新庄市政の執行にあたらせていただくことになりました。

多くの市民の皆様のご信頼とご期待に応えるためにも、大胆かつ繊細に、これまで以上にリーダーシップを発揮し、すべての市民が生涯安心して幸せに暮らせる新庄市、すなわち私の政治信条であります「いい人・いい街・いい暮らし」の実現を図ってまいります。

近年の地方自治を取り巻く状況は、少子・高齢化の進行による本格的な人口減少社会の到来を迎え、大きな転換期にあります。また、地方分権の一層の推進や「三位一体の改革」など、行財政改革の推進が当面の大きな課題となっております。

そのような中で、どのような時代環境の変化にも、しなやかに対応できる新たな地域社会のシステムを

備えた「たくましい故郷」の礎を早急に築き上げることが私の使命であります。

推進の根幹には、市民の主體的な参加による「協働」と、行財政の構造的な「改革」を据え、市政を進めてまいります。特に、「官から民へ」市の業務を聖域なく根本から見直し、民営化や指定管理者制度などにより民間への移行を強力に押し進め、市民サービスの向上とビジネスチャンス・新たな雇用の創出を図ってまいります。また、職員数の削減による「小さな市役所」、職員の意識改革により「大きなサービス」を行う市民のための市役所をつくります。

雇用対策としては、これまでの企業誘致に加え、地域資源や知恵・知識、技術など、内なる力を生かした起業への支援、まちなかへの第二次・三次産業の誘致を図り、にぎわいと雇用機会を拡大します。

雪対策として、支援を必要とする高齢者や障害がある方などへの福祉除雪サービス、消流雪溝や無散水消雪歩道の整備などを確実に実行します。

今後も、市民との対話を大切にしながら、山形県北部の中核都市である新庄市の発展に全力を注いでまいります。

「広報しんじょう」に見る

今年の主な出来事

- 1月 ①まちの活性化策を提言した明倫中生徒市議会(1月24日/市議会議場)
②洋画家・近岡善次郎氏と人間国宝の金工鍛金家・奥山峰石氏の作品を展示する特別記念室を開設(1月28日/ふるさと歴史センター)
- 2月 ③大雪で4年ぶりに豪雪対策本部を設置(2月1日)
- 4月 ④角沢小学校131年の歴史の中で最後となった入学式(4月8日/角沢小)
- 5月 ⑤「山形大学エリアキャンパスもがみ」を記念してオープンキャンパスを開催(5月21日~22日/市民プラザ)
- 6月 ⑥学校版環境ISO「あじさい環境ISO」開始宣言式(6月6日/ゆめりあ)
- 7月 ⑦昨年9年ぶりに復活し今年も多くの方々の力で盛大に開催されたあじさいまつり(7月3日/あじさいの杜)
⑧「ちびっこ山車まつり」など多彩に開催した新庄まつり250年祭オープニングイベント(7月23日~24日/中心商店街)
- 8月 ⑨史上初の4日間の開催に約54万人の人出。まつりの歴史に新たな1ページを刻んだ新庄まつり250年祭(8月24日~27日)
- 9月 ⑩植物から作ったエタノールを3%混合するE3燃料。環境にやさしい燃料の市民モニター開始(9月9日)
- 10月 ⑪市民活動の交流拠点として市民活動交流ひろば「ぶらっと」がオープン(10月19日/市民プラザ)
⑫「みちのく民話まつり」が今年で20年を迎える(四季語り“秋語り”/10月15日/旧矢作家住宅)



冬を安全に快適に

今年も、もうすぐ冬本番。全国有数の豪雪地・新庄では、市と関係機関が連携して計画的に除雪を行います。雪国のルールを守り、ちよとした思いやりと助け合いの心で、厳しい冬を克服して快適な冬を過ごしましょう。



4年ぶりの大雪に見舞われた昨年の冬

除雪作業にご協力を

除雪車は、午前三時現在の降雪量が十センチ以上の場合に出動します。また、路面に吹きだまりや輪だちが生じ交通が困難となった場合や、積雪で道幅が狭くなった場合などに出動します。市道の除雪は午前七時三十分までに作業が完了するように努めています。

十七年度の市道の除雪路線は、延長二〇九・八キロ。主要幹線道路、バス路線、地域的に主要な道路・公共施設への道路などです。

除雪の主力は機械除雪。除雪車は直営・委託合わせて八十五台。除雪路線は全面委託ですが、直営では、主要路線の排雪作業や、雪で狭くなった道路の幅出し(道幅の確保)を重点に行っています。

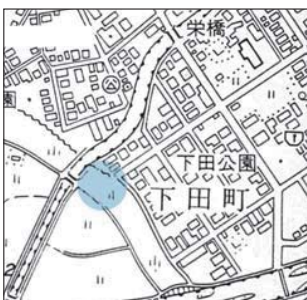
また、私道(生活道路)については、県内で唯一、市が除雪しており、約四十八キロ(申請数三二九件)の生活道路の確保に努めています。

ご注意ください!

- 除雪後の道路に屋根や敷地内の雪を出さない(交通の妨げになり危険です。屋根には雪崩止めを)
- 夜間の路上駐車は、除雪や通行の障害となるので絶対に行わない
- 垣根やブロック塀など除雪作業で破損するおそれがある物には目印をする

※除雪した雪を玄関や車庫前に置いていかなければいけないとの声をいただいております。限られた時間内で通勤・通学路の確保が必要なときは対応できない場合もありますので、ご理解・ご協力をお願いします。

市指定の雪捨て場



■下田地区/下田地区内の升形川



■福宮地区/浄化センター西側敷地



■仁間地区/新庄市農協仁間倉庫脇



■泉田地区/泉田河川公園上流

※下田地区へは大型ダンプでの搬入はできません。また、住宅地なので、搬入する時間(午前8時30分~午後5時)を厳守してください。

安全な雪下ろしを

●屋根の雪は早めに下ろしましょう

県内の通常の建物は、最低でも1メートルの積雪に耐えられるよう造られています。安全のため積雪 70センチになる前に雪下ろしを行う必要があります。

●作業中の安全対策

例年、雪下ろし作業中の転落事故や雪埋まり事故が数多く報告されています。作業中は、落下防止ロープを装着し、できるだけ複数の人数で作業をしましょう。

●雪下ろしは重量バランスを考えて

屋根の片側だけに雪を残してしまうと、建物にねじれなど過大な負担が生じます。屋根の片側だけを集中的に下ろさないで、雪の重さが均等になるよう注意しましょう。

●下ろした雪の排出

下ろした雪は道路に出さず、運搬業者に依頼するなど適切に処理しましょう。

●空き家の雪下ろし

空き家の住宅や倉庫などで、倒壊の危険がある場合は、所有者や管理者に連絡し、近隣の住民で協力し雪下ろしをするなどしてください。

●電線・電話線に気をつけて

作業中の感電や、電線・電話線の破損に注意しましょう。

流雪溝の利用ルール

流雪溝は、上手に使えば大きな力となります。しかし、大雪のときに一齐に雪入れると、雪が詰まり、付近で水上がりが発生します。雪入りのルールを守ってご利用ください。

●鉄筋のふたは外さないでください

流雪溝の中にかけている鉄筋の格子ふたは、歩行者の危険防止と水上がりを防止するためのものです。流雪溝をつまらせないためにも、外さないで利用してください。水上がりが発生した場合は、付近住民の皆さんのご協力をお願いします。

●流雪溝に機械での投雪はしないでください

流雪溝などへの機械による投雪は水上がりの原因になります。絶対にしないでください。また、屋根から直接、流雪溝などに落下しないよう雪崩止めをしてください。

●開けたふたは元に戻しましょう

投雪し終わったら、流雪溝の投入口に必ずふたをしましょう。そのままにすると、歩行者が落ちたり、除雪車により破損されたりします。作業中、ふたを開けているときは、危険防止のため、旗などの目印を立ててください。



事故や災害を防ぎましょう

除雪車は大変危険です。作業中は絶対に近づかないでください。

冬期間の住宅は、雪囲いなどで出入口が限定されがちです。火災などに備え、非常口を二カ所以上確保しましょう。

また、地震が起きれば雪の重みで家屋が倒壊することもあります。万一の災害に備え、屋根の雪下ろしは早めに行いましょう。

●ご注意ください!

- ストープやヒーターをカーテン、洗濯物など燃えやすい物のそばに置かない
- ガスボンベは、囲い・くさりなどで固定し、その周りを常に除雪。雪による転倒やゴムホースがはずれないよう確認する
- 外出、就寝前には必ず消火を確認する

消火栓や防火水槽・カーブミラー・ごみステーションなど、町内に設置されている安全施設の除雪については、町内の皆さんのご協力をお願いします。

子どもとお年寄りを雪から守りましょう

雪道の歩行には、さまざまな危険があります。冬の歩道や通学路を各地域でもう一度、点検してみましょう。

また、市や社会福祉協議会では、高齢者世帯・心身障害者世帯への除雪サービスを実施しています。屋根の雪下ろしは市福祉事務所へ、玄関前の雪払いは新庄市社会福祉協議会へご相談ください。

※問い合わせ先

除排雪に関するごこと、雪に関するご意見・ご提案など

◎都市整備課

☎内線 525-532

防災・事故に関するごこと

◎環境課消防交通室

☎内線 435-437

福祉サービス事業に関するごこと

◎福祉事務所高齢障害支援室

☎内線 550-553

546-548

◎新庄市社会福祉協議会

☎ 22-5797

公共サービス提供主体の多様化を推進

市民活動を公共サービスの担い手へ

市の行財政改革の大きな柱の一つに、これまで市が担ってきた公共サービス分野への地域・企業などの参加があります。市民と行政が力を合わせ地域の課題を解決し、多様なニーズに応じていくという取り組みです。今回は、「公共サービスの担い手」について、現在、市が推進していることをお知らせします。



現在3つの地元町内会が行っている公園の管理

市民の力を公共サービスに

市は、平成十七年から十九年までを実施期間とする「新庄市行財政改革大綱」の中で、「公共サービス提供主体の多様化」を進めています。社会教育、福祉など市民の関心が高い分野に民営化や民間委託、指定管理者制度を活用することにより、民間企業の経営ノウハウや市民団体などの専門能力などを公共サービスの向上に生かそうという取り組みです。

職員の定員数を削減しながら、その分の人件費を事業費・管理費にまわし、サービス向上と施設維持管理の充実を図り、行政にかかわる人を増やしていくものです。

どのような事業を考えているの？

まず、これまでの行政主体による公共サービスの水準が維持・向上することが大前提です。

また、公平性が確保され、企業や市民、地域などに委ねたほうが効率的・効果的と考えられる事業が対象になります。

具体的な方法は？

① 民営化
 神室荘Ⅱ改築などを行ったうえで、適切な時期に社会福祉法人へ移管保育所Ⅱ将来的にⅡ所体制を想

場紹介

市役所の仕事
市民課 編

市民課は、住民戸籍室、国民年金室、市民相談室の三室十六人体制です。

さまざまな手続き・申請をするときに必要な住所・身分などに関する証明書の交付や、国民年金の届出受付、庁舎案内などの窓口案内が主な業務です。

〔住民戸籍室〕

婚姻届や出生届などの受付や戸籍謄本・戸籍抄本の交付を行う戸籍事務、転入・転出・転居などの受付や住民票の交付を行う住民登録事務、印鑑登録や印鑑証明書の交付を行う印鑑登録証明事務などを行っています。

年間を通じて市民の利用がとても多い窓口ですので、利用しやすい環境づくりに取り組んでいます。窓口にごられた市民の皆さまが必要とすることと的確に伝えるため、迅速で正確な窓口サービスを心がけています。

〔国民年金室〕

安心して国民年金に加入し、年金を受給できるようにすることが国民年金室の使命です。社会保険事務所と連携をとりながら年金制度への正しい理解を得られるようピーアールに

公益活動

地域の「見守り」と「支え合い」を支援

NPO法人
オープンハウスこんべいとう
(代表・川又真貴子さん)

わたしたち「こんべいとう」は、地域で行える「助け合い」「支え合い」として、年齢に関係なく0歳児から高齢者までお預かりしています。自分たちの地域の問題を少しでも自分たちで解決できたらとの思いで、有償ボランティアとして、生きがいづくりのお手伝いをしています。

世代の違う人とのごく自然な関わりを持つ中で、わたしたちは見守り・指導・援助を行いながら、子育て中のお母さんたちと一緒に、お子さんたちの成長を楽しみたいとの思いでいます。

昨年度から地区公民館に出向き、「サテライト」という方式を取りながら、地域の人たちで行える「見守り」「支え合い」のきっかけづくりを行っています。参加者を対象に行ったアンケートでは「地区に住むおじいさん・おばあさんや子どもたちの顔がわかった」「年齢の違いがあっても同じ遊びができることを知った」「とても楽しかった」などの結果が出ています。

また、東北公益文科大学で開催された助成事業の研究発表においてこの取り組みを発表したところ、多数の関係者から共感を得ることができました。

今年度は、市から少子化対策地域親子交流推進事業として助成していただきました。これを機に、もっと地域の中で、子育て中や出産前後、日常生活において子育ての不安を減らすため、関係機関と連携しながら速やかに解決できる方法とともに考え、地域全体で関心を持って支え合えるように支援していきたいと思っています。

今年度は、月2回程度、各地域の公民館で活動しています。ぜひ多くの方に利用していただきたいと思っています。



みんな集まれ!一緒に遊ぼう!!

今後の開催予定

- 1月28日(土) 八向地区公民館
- 2月11日(土) 東山公民館
- 2月25日(土) 関屋公民館
- 3月25日(土) 福田公民館

◎オープンハウスこんべいとう ☎29-2301

※このコーナーでは、公益(=社会貢献)をめざし活動している市民団体の取り組みを紹介しています。

定し、五所のうち三所を民営化

② 民間委託

③ 指定管理者制度の活用

スポーツ施設・生涯学習施設・火葬場・児童センター(館)

特に今回は、二番目の民間委託についての考え方をお伝えします。

市は、十六年に民間委託推進指針を作成しました。行政責任を果たすために必要な監督・指導を行いながら、市の事務事業の具体的な実施を、市民・NPO・民間企業などに委託することを推進していきます。

その一つとして、今年四月から

は都市公園の一部を地元町内会に管理委託しています。また、公用車の運転業務の委託や、学校給食のあり方を検討する中で調理業務の委託化を検討しています。

このほか、事務事業評価では外部委託の可能性について全三百七十三事業中五十三事業を「今後は可能性がある」としています。さらに、庁内の行革プロジェクトチームでは、担当課では委託の可能性がないと判断している事業についても再検討を行うなど、委託可能な事業の検討を進めています。

協働による相乗効果

民間委託にあたっては、市民の活動主体が公共サービスの担い手となるよう育成し、サービス水準を維持するため市が必要な指導を行うことが重要となつてきます。

単に経費削減のための民間委託ではなく、行政と市民との協働による相乗効果を地域に還元できるよう、市民とのパートナーシップ・信頼関係を築きながら、地域の活性化を目指します。

努めています。

〔市民相談室〕

庁舎案内、市政・市民生活・消費者問題などに関する相談窓口です。特に消費生活を取り巻く社会情勢が複雑化・悪質化している中、不安をできる限り解消できるよう、市民の立場に立つて取り組んでいます。

○市民課からお願い

転入届・転出届・転居届や世帯変更の手続きを行うときは、届出にきた人が本人であるかを運転免許証・パスポート・公的な機関が発行した資格証明書などで確認することが義務づけられました。ご理解ご協力をお願いします。

県内初の「認証保育所制度」 入所児童を募集しています

新庄市が県内初の「認証保育所制度」を創設してから2年目を迎えました。この制度は、認可外保育施設からの申請に基づき市独自の基準を満たす施設を認証することで、保育環境の整備と保育水準の向上を目指すものです。

この制度による「認証保育所」では、来年4月から入所する児童を募集しています。産休明け(産後2カ月)からの保育や、産前の予約もできます。それぞれの特色や保育時間、利用料金など詳しくは、各認証保育所へお問い合わせください。

平成17年度認証保育所(11月30日現在/認証順に記載)

施設名	所在地	電話番号
※ 乳幼児託児所ひまわり	金沢新町	23-5182
※ はなまるはうす	住吉町	23-1633
特定非営利活動法人 オープンハウスこんべいとう	住吉町	29-2301
※ 乳幼児託児所はぐみ	明倫通り	22-1276
※ なかよしこども園	大手町	23-0026
新庄ベビーホーム	上金沢町	23-2433
※ にこここベビーホーム	城南町	23-8538
※ にこここ東園	東谷地田町	29-3972
ゆりかご保育園	下金沢町	23-6787

※は新庄市認証保育所連絡協議会加盟施設

◎制度についてのお問い合わせは、福祉事務所児童支援室へ。☎内線545

新庄市の保育状況

	施設数	定員
市立保育所	5	510人
民間立認可保育所	1	120人
認可外保育所	13	407人

(10月1日現在)

認証の基準

- 設置主体が個人または民間事業者
- おおむね10人以上の児童が入所
- 通常の保育時間が10時間以上
- 保育従事者が2人以上

このほか、施設・設備・健康管理・衛生管理・保育内容など、全部で26項目の基準があります。

まちづくり

新庄中核工業団地から

●進出企業は43社

福田地区にある新庄中核工業団地に、高橋自動車(株)新庄工場(本社/山形市)が10月29日にオープンしました。自動車整備業の同社の地元雇用者は5人。今回の進出により、中核工業団地への進出企業は43社となりました。

さらに来年には、(株)山形セキノが操業予定。地元雇用や地域経済の活性化が期待されます。

●進出企業が市に寄付

新たに進出した高橋自動車(株)が市の福祉行政に役立ててほしいと市に寄付しました。市は、保育所の遊具整備などに



社長から市に寄付(11月22日/市役所)

●工業団地情報

中小企業基盤整備機構では、新庄中核工業団地の用地分譲について従来の譲渡方式に加え、リース方式や、区画分割による希望面積への対応、割賦支払期限の最長15年延長などの新制度を導入しました。さらに、今年度から進出企業への市の用地取得助成制度の面積要件を緩和しました。

◎詳しくは、中小機構山形事務所☎023-634-5700、市商工観光課商工振興室☎22-2111内線254へ。

健康メモ

メタボリック・シンドロームってなに?

メタボリック・シンドロームとは内臓脂肪による肥満の人が、血中脂質・血圧・血糖が高めという、生活習慣病になる危険因子を併せもっている状態のことです。自覚症状はなく、個々の症状が軽度でも動脈硬化の危険性が高まり、ひいては心臓病や脳卒中を起こすことになりかねません。

今年4月に作られた診断基準では、内臓脂肪型肥満はウエスト周囲が男性85cm以上、女性90cm以上で、加えて次の2項目以上が当てはまる場合です。

- 中性脂肪値が150mg/dl以上でHDLコレステロール値が40mg/dl未満
- 血圧の最高が130mmHg以上で最低が85mmHg以上
- 空腹時の血糖値が110mg/dl以上

予防・解消法は、食生活と運動などの生活習慣です。バランスのとれた食事を心がけ、夕食の時間は早めに。夕食は高脂肪や高エネルギーのものを避けること。お酒は適量を。

運動は、ウォーキングなど体内に酸素を取り入れる有酸素運動が体脂肪を減らし、持久力をつける効果があるので、肥満解消に最適です。有酸素運動にプラスしてダンベル体操などの筋力アップ運動を行うと基礎代謝が高まり、太りにくい体質になります。

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513~516

御家老の江戸だより

新庄のよき再発見

◆新庄藩江戸家老奥山峰石さん
(金工鍛金家・人間国宝)

新庄を離れて五十二年。まつりは何回見ただろうか。日本橋まつりや大銀座まつりのときに山車が来て引かせていただきましたが、新庄では思い出すことができないほど長い間見ておりませんでした。今年は二五〇年祭とのことで、妻と知人の夫妻二組と六人で出かけました。

八月二十五日、知人たちは駅前広場で山車の行列を見てびっくりし感動しておりました。「素晴らしい。来て良かった」と何度も言っていました。山車の美しさと囃子との調和の見事さ。勇壮な行列に、新庄人であればできないまつりだと興奮して見入っていました。



新庄まつり250年祭にて(右から2番目が奥山さん)

二十六日は、泉田の国指定重要文化財・旧矢作家住宅を見学後、泉田駅前にある三吉神社(わたしが重要

無形文化財保持者になったときに建て替えられた神社)を参拝しました。

二十七日は、ふるさと歴史センターを見学。近岡先生の絵やわたしの作品もほめていただきましたが、民具の多さと素晴らしさにもびっくりしておりました。夕方から二五〇年祭記念パレードを見物。ライトアップされた美しい幻想的な山車にも感動しました。

列車に乗ってからも素晴らしいとまつりの話に花が咲き、今度は他の名所もゆっくり見学したいと話が出ました。萩野の大杉、国指定重要文化財の鳥越八幡神社、エプロジীগーデン「原蚕の杜」、それに南に月山、西北に鳥海山のように美しい山がある。今回は見ることでできなかったことを話すと、今度来るときは芋煮会のころにしようということになり、楽しい楽しい三日間の新庄の旅でした。

わたしも用事がなければなかなか新庄に帰れませんが、今回、知人たちを案内しながら、まだまだたくさん見所があることを改めて知る旅となりました。

いきいき 新庄人 大事なものは楽しむこと

庄司敏明さん(千門町)

「初出場優勝できて、とてもうれしい。これまでできてきたことが無駄ではなかったと思いました」と語る庄司さんは、奥さんの静恵さんと出場した“ときめきねりんピック2005”社交ダンス県大会で見事、3部門優勝に輝きました。

「社交ダンスを始めたきっかけは、16年前に体調を崩して何か体を動かすことをしたいと思っていたときに、人から勧められて妻と一緒に始めました。最初は、ルンバやワルツなど10種目のダンスの動きを覚えることで精一杯でした。わたしが最も好きなのは、曲が優雅でリズムに乗れる“ワルツ”です。練習の甲斐あって9年前にインストラクターの資格を取りました。今は週1回練習し、週4回新庄21地域スポーツクラブやわたしが主宰するサークルで教えています。

5年前までは競技会に出場して、大学生とも競い合っていました。体力的に難しくなってからは出場しなくなりましたが、“ねりんピック”は同世代の人たちとの競技なので、また出てみたいと思いました。

社交ダンスには、3つの魅力があると思います。1つ目は音楽を楽しめる。2つ目は、体を動かすことができる。見るとやるとでは大違いで、予想以上に手の先から足の先まで全身を使う、まさにスポーツだと思っています。そして3つ目は、異性と踊ることができることです。異性と踊ることで、緊張感や相手を思いやる気持ちが自然に生まれてきます。

小さな子どもが音楽に合わせて体を動かしている姿を見てもわかるように、人は生まれながらにして楽しい音楽に合わせて体を動かすことができます。それをいかに上手く表現するかがダンスだと思っています。そして最も大事なことは、いかに楽しむかだと思っています。

わたしは、自分が何気なく始めた社交ダンスがこんなにも楽しいということ、皆さんにもっと知ってほしいと思います。そのためにも、この地域で社交ダンス発展のためにお手伝いできればと思います」と熱心に語る庄司さんの笑顔は、とても生き生きとしています。



聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲亀綾織の制作実演・展示・はた織り体験が行われた「かめあや大感謝祭」(11月18日/ゆめりあ)



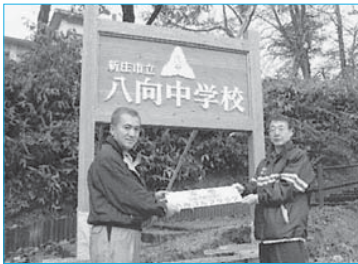
▲最上地方の行事食が季節ごとに紹介された第30回市民雪セミナー(11月26日/雪の里情報館)



▲読み聞かせなどを楽しんだ図書館まつり(11月5日～6日/市立図書館)



▲新庄藩主戸沢家墓所が景観大賞に(11月22日/市役所)



▲八向ゴルフクラブが八向中学校看板を国道脇に設置(11月12日)



▲全日本選手権優勝を成し遂げた高橋雄介さん(11月20日/兵庫県西宮市)

亀綾織を伝承

新庄亀綾織伝承協会が設立20周年を迎え、「かめあや大感謝祭」が開催されました。亀綾織は、江戸時代に新庄藩の特産品として奨励されたのがはじまり。模様がきめ細かく手間がかかるため後継者が育たず、「幻の織物」といわれてきました。昭和61年に復元に成功し、現在、伝承協会の会員9名が「機織り長屋」や「原蚕の杜」で伝統を守り続けています。

雪国の行事食を堪能

第30回市民雪セミナーを開催し、新庄市食生活改善推進員協議会会長の伊藤妙子さんが「最上地方の季節ごとの行事食」と題し講演しました。新庄民話の会副会長でもある伊藤さんは、時折、昔話も交えながら、古くから最上地方に伝わる約50種類もの年間の行事食について解説。講演後は試食会もあり、参加者は、郷土の伝統料理などに舌鼓を打っていました。

“おたまや”が景観大賞に

新庄藩主戸沢家墓所、通称“おたまや”が「第3回次代につなぐやまがた景観賞」の山形経済同友会大賞に選ばれました。この賞は、山形の特長ある景観を守り育てることを目的に山形経済同友会が主催するもので、新庄市のほか鶴岡市など3カ所が受賞しました。今回の受賞を記念し、新庄おたまや保存会では、墓所前に金属製の顕彰板を設置する予定です。

ボクシングで全国優勝

今年8月のアジア選手権大会に出場した高橋雄介さん(東京農業大学/新庄北高出身)が、第75回全日本アマチュアボクシング選手権大会で見事、優勝の栄冠を勝ち取りました。階級はライトウェルター級。全日本選手権での県勢の優勝は14年ぶり。新庄市出身者としては19年ぶり2人目の快挙です。



創立130周年を祝う

日新小学校が今年で創立130周年を迎え、記念式典を開催しました。日新小学校は、明治7年の鳥越学校に始まり、翌8年に金沢学校、12年に福田学校、そして13年に金沢学校が日新学校となり、現在地に移転しました。市制施行の昭和24年には日新小学校となり、現在は平成11年に完成した新校舎で748人の児童が元気に学んでいます。



▲日新小学校が創立130周年記念式典を開催(11月16日/日新小体育館)

栄光をたたえて

■新庄市歯の長寿者表彰

柴田幸子(小田島町)高橋サクヨ(新町)柴田利男(千門町)小山田時夫(新町)柿崎江登子(千門町)今田鉄雄(野中)飯塚喜一(石川町)埴重之(石川町)須田サダエ(升形)今田正(谷地小屋)元木サク(若葉町)佐々木マサ子(太田)星川直(仁田山)中塚ワカ子(長坂)沼澤みさ子(宮内町)須藤栄子(蛇塚)柿崎ツヤ(若葉町)齊藤アサヨ(本合海)長沼ツヤ子(高壇)高橋安彦(小田島町)荒川おせつ(北町)渡辺涼子(明倫通り)笹喜市(泉田)加藤喜一(萩野)安食ヨシノ(萩野)伊藤トシ(小田島町)大場サクエ(堀端町)菅フヂヨ(千門町)



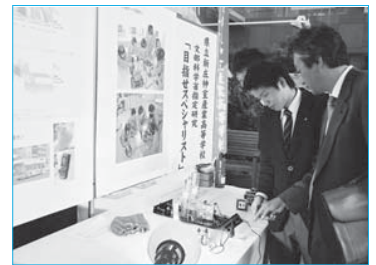
▲80歳以上で歯が20本以上ある歯の長寿者を表彰したむし歯サミットin新庄(11月8日/市民プラザ)

■県中学校新人体育大会

【バドミントン】男子/団体③新庄/個人/ダブルス③佐藤潤也・宮岡翔也(新庄)星川巨輝・星川尚之(新庄)女子/個人/シングルス③小林真奈美(日新)/ダブルス③山科光紗・阿部早希子(明倫)【相撲】団体2部②日新



▲森林土木建設業協会新庄最上支部が桜20本を植樹(11月1日/太田地区)



▲最上地域の特色ある資源・技術を紹介した「もがみ見本市」(11月11日~12日/ゆめりあ)

■県北ブロック中学校新人体育大会

【バスケットボール】男子Aブロック①新庄女子Aブロック②萩野Bブロック③明倫【サッカー】Bブロック②萩野【柔道】男子/団体①日新/個人73キロ③阿部貴嶺(日新)81キロ級①今井智紀(日新)③今田卓耶(明倫)90キロ級③井上大輔(萩野)90キロ超級①金藤拓馬(日新)女子/個人57キロ級①大場美咲(日新)



▲開館8周年記念アトラクション(11月27日/雪の里情報館)



▲塗装工業会が「落書きなくし隊」ボランティア(11月16日/市内3カ所)

■第5回全国障害者スポーツ大会

【フライングディスク】③岸田一男(下金沢町)

ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

市民スキー場オープン!

～12月29日(木)(予定)～

○無料開放日 12月29日(木)、18年1月12日(木/スキーの日)、
2月11日(土/市総体)、28日(火/最終日)

◎生涯スポーツ課 ☎22-0681



新庄21地域 スポーツクラブから

親子スキー教室

▼対象 小学生、小学生親子
(3年生以上/先着30人)

▼とき 1月14日(土)、15日(日)午
前9時30分～午後3時

▼参加費 1,000円

▼申し込み 1月10日(火)まで

市民スキー教室

▼対象 中学生以上(先着30
人) ▼とき 1月17日(火)～2
月9日(木)午後6時30分～8
時30分(全8回)

▼参加費 2,000円

▼申し込み 1月11日(水)まで

※会場はいずれも市民スキー
場(傷害保険は別途)

平成17年度新庄市民新年祝賀行事

新世紀を翔ける 新春市民の集い

～新年の夢を語り、飛躍の年に～

○とき 18年1月4日(水)午後3時～5時

○ところ 市民プラザ大ホール

○参加費 1人1,000円

○申し込み 参加費を添え12月22日(木)まで

○詳しくは、総務課職員広報室へ。

☎内線211

産直まゆの郷 年末みそか市

○とき 12月28日(水)～31日(土)午前9時
30分～午後6時(31日は午後4時まで)

○内容 旬野菜・花・農産物の販売など

◎詳しくは、産直まゆの郷 ☎23-5007、農
林課バイオマス推進室 ☎内線267へ。

年末年始のごみ収集

12月31日(土)～1月3日(火)のごみ収集は
休みになります。1月3日(火)が缶・ペットボトル
の収集日になっている地区は収集します。

1月4日(水)以降は通常収集します。

◎詳しくは、環境課環境保全室へ。

☎内線431・432

☎023-646-8836

放送大学山形学習センター

時～市民プラザ

▼説明会 1月14日(土)午後2

月15日(木)～2月28日(火)まで

▼種類 全科履修(4年間/18

歳以上)、選科履修(1年間/

15歳以上)、科目履修(6カ月

/15歳以上) ▼募集期間 12

月15日(木)～2月28日(火)まで

▼利用して授業を行う通信制
の大学です。

放送大学は、テレビ・ラジオ

を利用して授業を行う通信制

の大学です。

放送大学は、テレビ・ラジオ

を利用して授業を行う通信制

の大学です。

放送大学は、テレビ・ラジオ

を利用して授業を行う通信制

の大学です。

放送大学は、テレビ・ラジオ

を利用して授業を行う通信制

の大学です。

放送大学は、テレビ・ラジオ

を利用して授業を行う通信制

の大学です。

放送大学は、テレビ・ラジオ

を利用して授業を行う通信制

の大学です。

放送大学は、テレビ・ラジオ

を利用して授業を行う通信制

の大学です。

放送大学は、テレビ・ラジオ

を利用して授業を行う通信制

の大学です。

取り壊した建物は ありませんか

固定資産税の課税の基準日は1月
1日です。今年中に建物を新築・増
築・取り壊した場合、またはその予定が
ある場合はご連絡ください。

◎詳しくは、税務課資産税室へ。☎内線144

駐輪場の冬期閉鎖と 自転車の撤去

新庄駅前ふれあい広場(アビエス)
と駅東口交通広場の駐輪場を冬期
閉鎖します。これまで駐輪場を利用し
ていた人は駐輪場から移動してくださ
るようお願いします。

○移動期限 12月27日(火)午前9時まで

◎詳しくは、都市整備課整備管理室
へ。 ☎内線525・526

国有林モニター

国有林の管理・経営に皆さ
んの声を役立てます。

▼対象 どなたでも(48人)

▼内容 アンケートへの回答、モ
ニター会議への出席

▼任期 18年4月～19年3月

▼申し込み 12月28日(水)まで

☎018-836-2274



農業委員の 選挙人名簿の申請

新庄市農業委員の選挙人名
簿は、有権者からの申請に基
づき、毎年1月1日現在で、そ
の選挙資格を調査し作成しま
す。申請がない場合は選挙人



12月のお・知

催し
など

南十字星ありがとう感謝祭

12月22日で閉所する「南十字星」が半年間のご利用へのお礼をこめて開催します。

- とき 12月21日(水)～22日(木)
午前10時～午後3時
 - ところ 南十字星(南本町十字路近く)
 - 内容 小規模作業所活動紹介、冬至かぼちゃの振る舞い、手づくりクッキー・せっけんプレゼントなど
- ◎詳しくは、すぎのこハウスへ。 ☎29-4682

市民映画劇場「ハリーポッターと炎のゴブレット(吹替版)」

- とき 12月26日(月)午後2時～、午後7時～(上映150分)
 - ところ 市民プラザ大ホール
 - 前売券 一般1,300円、学生1,200円、3歳～小中学生800円
- ※1回目のみ託児あり(1人400円/予約は託児サービスきらきら☎090-2845-4317へ)
◎詳しくは、プライマルプロジェクト・阿部へ。 ☎22-6155

出張無料税務相談

- とき 12月16日(金)午前10時～午後3時
 - ところ 市役所西庁舎市民相談室分室
 - 内容 所得税、消費税、相続税、資産の譲渡などの国税について
 - 対応 仙台国税局税務相談室酒田分室
- ◎今年度最後の相談です。詳しくは、税務課課税室へ。 ☎内線142

年末金融特別相談会

- ～中小企業の相談に応じます～
- とき 12月29日(木)、30日(金)
午前9時～午後3時
 - ところ 新庄商工会議所(市役所向い)
 - 対応 商工会議所職員、市職員
- ◎詳しくは、新庄商工会議所へ。 ☎22-6855

フリーター労働相談110番

- 対象 フリーターや派遣・パートの人
 - とき 12月21日(水)・22日(木)
午前10時～午後7時
 - フリーダイヤル 0120-378-060
 - 内容 解雇、賃金未払い、サービス残業、いじめ、セクハラ、労働組合の結成など
- ◎詳しくは、山形県労働相談センターへ。 ☎023-623-4010

☎内線256
問 農業委員会事務局

☎023-623-9511
問 山形県検察審査会事務局

☎03-3519-2707
問 日本弁理士会

名簿に登録されず、選挙があつても投票できなくなりま
す。該当する人は必ず申請し
てください。

▼申請できる人 市内に住所
があり満20歳以上で、次のい
ずれかに該当する人

①10アール以上の農地があり、
耕作を営む農業経営者

②①の農業経営者と同居の親
族またはその配偶者で、年間
60日以上耕作に従事する人

▼申請方法

【農業協力がいる地区】
協力を通じて配布する申請
書に記入し協力員に提出

【その他の地区】
農業委員会に申請(申請書は
農業委員会にあります)

▼申請期限 1月10日(火)まで

お願ひします。

検察官のした処分が正し
かったかどうかを審査するの
が 検察審査会です。審査は、選
挙権を持つている人の中から選
ばれた11人で行います。審査員
に選ばれたときには、ご協力を

▼とき 平日午前10時～正午、
午後2時～4時(相談無料)

特許・意匠・商標
なんでも110番

☎023-686-3690
問 山形県身体障害者福祉協会

☎023-641-5177
問 東北財務局山形財務事務所

在宅障害者の方にパソコンの 使い方のサポートを無料で行っ ています。事前に利用登録し、 派遣を受ける1週間前までお 申し込みください。

預金保険制度

17年4月から、当座預金や
利息のつかない普通預金は「決
裁用」として全額保護され、定
期預金や利息のつく普通預金
などは一金融機関につき預金
者一人あたり元本一千万円まで
とその利息が保護されています。
※「決裁用預金」などについて
詳しくは、金融機関にお問い合わせ
ください。

市民税・県民税および所得税の申告が必要になります

平成17年分の所得については18年3月15日までに申告をすることになって
いますが、税法改正により、65歳以上
(昭和16年1月1日以前生まれ)の人の
控除額などが変わり、昨年まで申告
の必要がなかった方でも申告が必要
となる場合があります。

- 主な改正内容
- ① 老年者控除の廃止(市・県民税控除額48万円、所得税控除額50万円)
 - ② 65歳以上の公的年金等に係る雑所得の速算表の改正(右表)

◎詳しくは、税務課課税室 ☎内線142、新庄税務署 ☎22-5113へ。

【改正前】

公的年金収入額合計(A)	割合(B)	控除額(C)
2,599,999円まで	100%	140万円
2,600,000円～4,599,999円	75%	75万円
4,600,000円～8,199,999円	85%	121万円
8,200,000円以上	95%	203万円

【改正後】

公的年金収入額合計(A)	割合(B)	控除額(C)
3,300,000円まで	100%	120万円
3,300,001円～4,100,000円	75%	37万5千円
4,100,001円～7,700,000円	85%	78万5千円
7,700,001円以上	95%	155万5千円

国民年金保険料は所得税控除の対象です

平成17年中に納めた国民年金保険料は、
全額が社会保険料控除として所得税や住
民税申告の控除対象となります。領収書や社
会保険庁から送付されている控除証明書

年末調整や申告のときに提出してください。今
年からこれらの証明書がない場合は控除が受
けられません。紛失などによる再発行は社会保
険事務所にお問い合わせください。

◎詳しくは、新庄社会保険事務所 ☎22-
2050、市民課国民年金室 ☎内線134へ。

「将来を見ずえた人づくり」

地域は、子どもにとって大切な交流と学びの場です。前回に続いて、「地域の子どもは地域で育てる」をテーマに青少年の健全育成に取り組んでいる地区を紹介します。今回は、山屋地区からです。



山屋小学校の今年度の児童数は二十二名です。地域あげての運動会、地域の人からも来てもらった文化祭や収穫祭、地域の人から協力してもらった「山屋っ子田んぼ」の活動、そして「山屋隣子小若連」の活動と、地域の協力なしにはできない活動が多くあります。地域の人との関わりの中で子どもたちは成長していきます。

山屋っ子田んぼの活動

子どもたちに米作りの体験をさせようと、地域の水田を借りて「山屋っ子田んぼ」の活動が始まったのは八年前。今年も五月二十五日、絶好の天候のもと、全員で田植えを行いました。

おじいさん、おばあさんたちが、子どもたちにつきつきで教えてくれました。一年生は初めてで足が抜けなくなったりして、とても緊張して植えているのがわかりました。二年生以上は、「三本ずつ」十

字印のところに植える」という決まりをしっかり守って植えていました。七月に二回の草取り、九月に稲刈りと稲杭かけ、十月初めに脱穀を行いました。

収穫は、文化祭と一緒にいう収穫祭でもちをつけて、地域の人と一緒にいただきました。

子どもたちは六回の米作りを体験して、収穫の喜びと、お世話になった人たちに感謝する心を学んで卒業していきます。

社会福祉施設との交流

交流学習として、春と秋に薬師園を訪問したり、薬師園と「かつろくの里」の夏祭りに参加しています。また毎年、文化祭・収穫祭には、見学に来てもらっています。

文化祭のときに、薬師園と「かつろくの里」の人たちを乗せたマイクロバスが学校の体育館に到着しました。お父さんたちがさっと入り口に出て、車いすの人たちの手助

けをしてくれました。体育館の入り口は段差が多く、車いすでは入りにくいのです。子どもたちはこのような親の後ろ姿からも、人との関わり大切さを学んでいます。

地区をあげての奉仕活動

山屋小学校では、地区全戸の協力のもと、毎年、小学校の環境整備の早朝作業をしていただいています。小学生がいるいないにかかわらず、地区をあげての奉仕活動です。子どもたちがより良い環境で育つてくれるように、という思いが伝わってきます。

このように地域に支えられながら、地域の人たちとともに心豊かな山屋の子どもを育てています。

(山屋小学校)

新庄の歴史

こぼれ話

「忠臣蔵」と新庄

「忠臣蔵」でお馴染みの赤穂藩主・浅野内匠頭(長矩)は、元禄十四年(一七〇一)三月、殿中松の廊下で吉良上野介(義典)に切りかかる刃傷事件を起こした。浅野家が拜命した勅使御馳走役(接待)に関して、指導役の吉良は、快く思っていない浅野に失敗するように仕向け、その侮辱に浅野が怒ったゆえのことである。

ところで、当時の新庄藩主は一代目・戸沢正誠であるが、役職は浅野内匠頭と同じ「帝鑑の間詰め」で、勅使等接待の役目も何度か務めている。それでは、なぜ、正誠は吉良に意地悪されずに、勅使接待の役目などを無事に遂行することができたのか。それは、当時、新庄藩のドル箱であった谷口銀山(金山町)から出る銀が藩財政を潤しており、正誠はそれを使って幕府要人に貢物を贈り、後に譜代大名になることができた。初代藩主・政盛は譜代であったが、正誠は初め外様とされたと伝えられていることから、吉良にも同様に貢物を届け、いろいろと教えてもらったの

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『作家の読書道』

Web本の雑誌 編

石田衣良、村山由佳、恩田陸など、当代の人気作家30人へのインタビュー集。小さいころどんな本を読んでいたのか?影響を受けた本は?どうして作家になったのか?などなど。今、気になる作家のよもやま話。



●今月のテーマ展示●

『宝 石』

古来より不思議な力を持つといわれ、人々を魅了してきた「石」。富と権力の象徴として、さまざまな争いや事件の元にもなった「宝石」。

今月は、ファンタジー・恋愛・ミステリーなどの小説。エッセイ・石と宝石の図鑑・民俗など、宝石に関連した本を展示します。

新着図書

- ◆あなたは、だあれ……………武田 美穂
- ◆ありがとうのえほん……………フランソワーズ
- ◆ぼくのえんそく……………長谷川義史
- ◆山手町探偵クラブ……………那須 正幹
- ◆へんしんマラソン……………あきやまだし
- ◆彰義隊……………吉村 昭
- ◆野村ノート……………野村 克也
- ◆三年身籠る……………唯野未歩子
- ◆沼地のある森をぬけて……………梨木 香歩
- ◆女形……………不知火京介
- ◆金田一先生が語った言葉とところ…金田一春彦
- ◆女教皇ヨハンナ(上・下)…ドナ・W・クロス
- ◆円生と志ん生……………井上 ひさし
- ◆浜町河岸の生き神様(祝儀鏡三郎)…佐藤 雅美
- ◆告白……………荻原 浩
- ◆グーテンベルグの黄昏……………後藤 均
- ◆おいしい毎日……………大橋 歩
- ◆さむらいウィリアム ―三浦按針の生きた時代―……………ジャイルズ・ミルトン
- ◆てのひらの迷路……………石田 衣良
- ◆骨髄ドナーに選ばれちゃいました…石野 鉄
- ◆おらんくの池……………山本 一力
- ◆サンドウ、学校へ行こう!(上・下)…村雨 麻規
- ◆戦国の女たち―16人の波乱の人生―…小和田哲男
- ◆チェンジ! ―ぼくたちのとにかえっこ大作戦―……………アレックス・シアラー
- ◆藤沢周平心の風景(とんぼの本)…藤沢 周平
- ◆教室を路地に ―横浜国大VS紅テント2739日―……………唐 十郎
- ◆贅沢なおやつ……………松任谷由実
- ◆四月の雪……………キム ヒョンギョン
- ◆美姫決戦……………富樫倫太郎

- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休 館 日 毎週月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

健康に生きぬく子どもを育てる

～山形県学校保健研究大会～

県学校保健研究大会が開催され、県内から多くの学校関係者が集まり、研究成果を発表しました。これは、心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒を育成することを目的に毎年開かれているもので、今年のテーマは、「生涯にわたって健康に生きぬく児童生徒の育成」。「いのちの教育」「歯・口の健康」「薬事・環境と健康」「安全な生活と障害の防止」「食事と健康」の五分科会に分かれて、事例報告と意見 情報交換が行われました。

いのちの教育分科会では、小・中学校での実践事例として、「本校では、生活習慣づくり、体力づくり、心づくりを通して、仲間や家族と思いを共有しつつ、自己肯定感を育む活動として取り組んでいます。生活習慣づくりの二年目として、今年度は、親子の関わりをテーマに、プラスしてアンケートによる心と体の教育相談などを実施しています」と報告がありました。また、食事と健康分科会では、昭和小学校から、「自分が生まれた育った昭和地区の農業を知り、多くの人の手によりおいしい食事ができることを実感できるような取り組みを進めています。低学年では、おやつになる作物、中学年は郷土料理に使われる野菜、高学年は手づくりみそ汁、しょうゆ、しょう

うよつに具体的に授業で取り組む内容を明確にし、地産地消給食試食会などを実施することで食育に取り組んでいます」と報告がありました。最後に、山形大学長、仙道富士郎氏から「病は気から」と題して、私たちの体有病気から守る免疫の働きと心の関係について講演がありました。



(市史編さん室)

ではないかとも考えられる。刃傷事件の直後、ほんの1週間くらいのことであるが、赤穂藩の江戸藩邸を新庄藩が預かった。これは、両家が親戚筋に当たるところではないかと言つている。確かに、正誠の正室は、赤穂浅野家の本家である広島浅野家の娘であるので、遠い親戚には違いない。また、旧新庄領の安沢地区(金山町)に、「赤穂浪士の墓」と伝えられる石塔が数基ある。詳細はほとんどわからないが、正誠と内匠頭が同格の役職で、しかも遠縁として親しかったとすれば、義士を密かに供養することも、全く有り得ないことではないかもしれない。

かつろく思い出の四季

雪の大通り



櫛かみの後ろにつかまっつてはすべすった。
叱しかられてもどなられても、荷物で見えないように体を小さく
して、櫛かみにつかままっていた。ひとりひりでりにすべすっていくのが、何ともお
もしろしかった。

絵||三條正美、文||笹喜四郎(昭和六十一年新庄市発行)

大通りも、除雪をしなかつた頃はふみ俵で雪を踏むだけだったから道はだんだん高くなつて、家の前には何段もの階段がつくられた。家の中からは、道行く人も馬も、脚だけしか見えなくなる。
米や亜炭などを運ぶ馬ば櫛こがくる。馬は汗を出し、湯気立っている。この馬櫛ばこがくると、金下駄かねげだをはいて

見・所・探・訪

雪の里情報館

～旧積雪地方農村経済調査所／市指定史跡～

新庄は日本の雪害救済運動発祥の地。雪の代議士といわれた松岡俊三(楯岡出身)が全国に運動を提唱し、昭和8年に全国初の雪の役所「農林省積雪地方農村経済調査所」が開設された。市民から「雪調」「雪害」と親しまれたこの調査所で全国規模の積雪調査が初めて行われ、正式な雪の分類と名称が決められるなど、日本の克雪・利雪に大きな役割を果たした。この歴史を永く伝え、全国に情報を発信する施設として平成9年に「雪の里情報館」を開設。雪の結晶や雪国の生活・文化に関する展示などを行っている。



表紙の写真

うまく作れたよ!

～おもしろ実験教室
in最上～

今春スタートした山形大学エリアキャンパスもがみの支援プロジェクトとして開かれた「おもしろ実験教室」。子どもたちは教授と大学生の指導のもと、慣れない手つきで鉄棒を回転する人形「アクロバット」作りに挑戦。部品作りから始め、ようやく完成したときには、思わず笑顔がこぼれました。



10月末現在の新庄人

40,965人(41,339人)

女	21,315人(21,530人)
男	19,650人(19,809人)
世帯数	13,465世帯(13,496世帯)

10月の異動

出生	23人(31人)
死亡	37人(40人)
転入	103人(75人)
転出	71人(81人)

※()は1年前の住民基本台帳